提言４－１．活力と歓びのある布教活動の展開

視点１：高齢化、労働環境の深刻化、女性の就業率増加などをふまえて

活力と歓びのある布教活動の展開

- 全信者さん一人一人の生活状況、家庭状況をもう一度把握していく。
- 組長、班長といった名称を改めるなど、根本的、抜本的な布教体制の見直しを行う。また、青年、壮年、一般が心の交流をはかれるために「組織」、「活動」の見直しをしていく。
- 夜間法座等を充実させ、壮年部の新しい人とのコミュニケーションづくりを行なっていく。また、青少年や次世代のニーズにあった夜間イベント、集まりの開催。
- ホームページやライン等で、教えや情報をさらに発信していく。内容としては、「先祖供養の大切さ」、「何のために信仰が必要なのか？」、「働く女性のための悩み相談室」など。
- 法座がイキイキと展開していく地区づくり。そのために、支部長の配置転換を行い、支部長が会員さんのより近くに住んで、キメ細かい手どりができる環境づくり。
- 一般社会の人に立正佼成会を気軽に話せるサンガづくり。ポイントとしては「行事」中心ではなく、円滑な「コミュニケーション」つくりを中心にする。
- 会員、未会員、非会員を問わず、働く女性のための「悩み相談室」などの個人相談専門窓口を設置する。
- 行事ための手どりではなく、「何のための信仰か」ということを、まず幹部がその意識をより強く持って会員さんとふれあっていく。
- 当番修行や式典において、お役者がみんなでコミュニケーションをとって功徳を確認していけるやり方、方法の創意工夫を行う。